

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 6月 1日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2170102483		
法人名	社会福祉法人 岐協福祉会		
事業所名	グループホーム 大洞岐協苑		
所在地	岐阜市大洞3丁目3番地1号 (電話) 058-242-1153		
評価機関名	NPO法人ぎふ福祉サービス利用者センター びーすけっと		
所在地	各務原市三井北町3丁目7番地 尾関ビル2階		
訪問調査日	平成19年5月18日	評価確定日	平成19年8月10日

## 【情報提供票より】

(平成19年 4月 1日 事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 8人, 非常勤 1人,	常勤換算6.4人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	4階建ての	2階部分	

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	12,000 円	その他の経費(月額)	10,000~ 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (50,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	200 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 円		

### (4) 利用者の概要 (4月 1日 現在)

利用者人数	9名	男性 2名	女性 7名
要介護1	2名	要介護2	5名
要介護3	0名	要介護4	1名
要介護5	1名	要支援2	0名
年齢	平均 86.2歳	最低 78歳	最高 96歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団ワカムラヤスオメディカルソサエティ
---------	-------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

このグループホームは、特別養護老人ホーム、デイサービス、ケアハウス等が併設されている総合的な介護施設の一部門として活動している。管理者は全ての部門の施設長を兼任しており、理念の徹底、事業計画の策定、情報の管理、伝達の一元化が図られ、利用者が状態に応じたサービスの供給が受けやすい体制づくりが行われている。加えて、管理者は福祉の知識と経験が深く、地域をまきこんでの福祉を推進するため、職員と共に汗を流し、ケアの質の向上を図るため情報の公開を積極的に行い、地域に密着したサービスにするため熱意をかたむけている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価の意義の理解を深めることで、課題への対応は概ね達成することが出来た。今後は継続的にフォローしながら、出来ている他の項目においてもケアの向上につなげられる活動にするための取り組みを行っている。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全員で外部評価と共に自己評価に対する取り組みのあり方を再検討し、要改善項目では継続的かつ系統的に推移を確認しながら対応する方向へと転換を目指している。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>討議内容はホーム内の生活を紹介することで、地域側の参加者には理解の促進を図っている。しかし、まだまだの感もあるため、普段着の発想による話し合いの場づくりを進めるなかで地域のみならず、行政とも円滑な関係を築くための努力を重ねている。</p>
重点項目②	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>要望や苦情を受けるシステムはあるものの、そこから不安への対応や運営にどう取り込むことで解決に結び付けていくかに取り組んでいる。一方、職員には改めて伝える、聞く大切さの再確認を進めている。</p>
重点項目③	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域との交流はホーム側の呼びかけで徐々の拡大傾向に及んでいる。更には自治会加入も果たしており、交流のステップアップを図るため地域の催事には積極的に参加していける体制づくりを進めている。</p>

## 2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者の尊厳を守ることを基本理念とし、その人らしい生活が出来るよう、地域の方々と交流を図り、生きがいを育みながら認知症ケアの実践に取り組んでいる。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	全体会議、ケア会議、カンファレンスなどに加え、申し送りノートを活用し、入居者一人ひとりの現状を共有し、理念に沿うケアにつなげるよう全職員が取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の老人会や自治会などに交流を呼びかけている。近くの幼稚園とは年々行き来が盛んになっている。準会員として自治会に加入をしている。	○	全体としては認知されつつあるが、交流には今一步の段階にある。自治会に加入しているだけではなく、地域への理解や交流を深める働きかけがほしい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価のみでなく自己評価においても、指摘された以外にも、気付いた点は速やかに対応すると共に継続的に気づきをノートに記録し、会議で検討を図っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議ではパワーポイントでホーム内の生活を公開し、意見・情報交換を行い、部分的にホームの生活に活かしている。		今後は防災面など範囲を広げた交流を目指しているので、期待したい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政との連携は積極的に機会を持つように努め、情報を得て、サービスの質の向上に励んでいる。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の日々の生活を月次報告に盛り込んで家族に報告している。内容は、心身の変化を主体に金銭の出納やホーム内の催しへの参加呼びかけも行なっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年2回は家族会を開き、要望や苦情を出してもらい、利用者や家族の思いに応える機会を設けている。現状の参加者は利用者の半数程であるが、徐々に増えていくものと期待しながら、ていねいな対応をしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動への話し合いは職員主体となっており、利用者や家族への配慮は十分とは言いがたい。	○	人事異動により職員が代わることは、利用者と職員の馴染みの人間関係が途切れることである。十分な引継ぎで利用者、家族に不安をあたえないよう配慮がほしい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設の内部研修、外部研修を問わず、参加しやすい体制が取られている。		さらには、研修で得た知識を全職員に周知出来る仕組みに期待したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	支部会等に参加することで、交流の枠組は出来ているが、成果に結びつく状況には至っていない。	○	共通の目標や課題を設定したり、各々のホームの特性を学びあい、交流を深めるとよい。
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者に母体法人の苑に親しみを持ってもらい、親近感をいただけてもらえるようにステップを踏んでもらっている。具体的には、事前面接も行うが、総合施設の強みを活かし、デイサービスやショートステイの体験を徐々に拡大しながら馴染んでもらっている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人が持っている豊かな経験や優れた能力を、楽しみながら活かしてもらえるようにしている。職員のサポートは影に徹し下支えをする関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの尊厳を守りながら暮らしていけるよう支援に努めている。スタッフ会議においても気付きを共有し、利用者の思いに応えられるようにしている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者および家族の意向をふまえ、カンファレンスで検討を重ね、思いを盛り込んだケアプラン作りを実践している。職員はアセスメントの情報を共有化している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態の変化に即応し、利用者にとって現時点で最もふさわしいケアプランの提供を念頭に、職員はケアマネージャーと協働作業を行って対応している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	外出は、近くにある寺院で花見をしたり、幼稚園を訪ね園児と歌やゲームを行うなど深い交流を行うことで利用者のやすらぎにつなげている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者特定のかかりつけ医への受診は、家族の方が付き添われるが、受診結果は医師より連絡をもらっている。また、薬に関しては説明書と共に家族より提供を受け、必要に応じて医師に説明を求めている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入所時に、ホームとしての対応は生活の出来る間のみと伝えている。併設の特別養護老人ホームや医療機関への配慮も行うという点で安心をしてもらうよう取り組んでいる。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の保護を図るため、憲章は玄関や見やすい所に掲示しており、家族にはその旨に同意してもらい、全職員が徹底を図っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムに合わせる支援を推進している。余暇においても希望された楽しみが出来るよう用具などの充実に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューを決める時は利用者の意向を最大限に取り入れられるよう工夫をしている。一方的な好みの偏りや栄養バランスにも配慮して決めている。		共に楽しむため準備や後片付けに参加される利用者には気持ちよく行ってもらえるようサポートに徹している。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望があれば足にムクミのある方や水虫の方には足浴があり、好評を得ている。将来、夏など暑い時期には時間外のシャワー利用も検討することを考えている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの役割や楽しみなどを支援するため、職員は自然体で対応している。特に誘導などしなくても時間と共に自分なりにみつけられるのをやさしく見守っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望に応じて買い物などの外出支援は日常的に行われている。一方、外出を好まない人は施設内や周辺への散策支援が行なわれている。		帰宅希望の強い人も散策することで気分転換になっているので、継続した取り組みに期待したい。
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関口や出入口にセンサーを設置しているが、基本的には鍵をかけないケアを実施している。帰宅願望の強い人への対応として、地域の警察やスーパーなどに顔写真を渡して協力を求めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、消防の立ち入り検査を受けると共に、避難訓練も実施している。外出時の対応は、常日頃よりあいさつなどを通し、理解が得られるよう地域の方にはお願いしている。		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランスは栄養士の指導をうけ実践している。水分補給ではチェック表を用いて確認しており、冬期の床暖房による乾燥対策として、加湿器の設置で対応している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関先には休憩用のイスも置かれ、花や庭木に囲まれオアシス的な雰囲気がある。ホームは2階であるが、廊下はとても広く明るく、壁面にはきれいな絵画が掛けられ癒しを感じる。台所や食堂もとても使い勝手がよく工夫されているのが感じとれる。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はベッド以外は馴染みの物ばかりであり、日常的に使用され、生活感にあふれており、思い思いの写真や置物で飾られ、その人らしさの特徴があり、安らげる居場所となっている。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。